

## Part 1 基本情報

## 1. ベナン共和国 プロフィール

- (1) 正式名称 (和文)ベナン共和国  
(英文) Republic of Benin
- (2) 政体 共和制
- (3) 首都 ポルトノボ (Porto-Novo)
- (4) 面積 113 千平方キロメートル
- (5) 人口 890 万人 ( 2009 年、世銀)
- (6) 民族 フォン族(39.2%)、アジャ族( 15.2%)、ヨルバ族( 12.3%)バリバ族( 9.2%)、  
プール族(6.9%)、オタマリ族( 6.1%)など 46 民族
- (7) 言語 公用語: フランス語
- (8) 宗教 伝統的宗教( 65%)、キリスト教( 20%)、イスラム教( 15%)
- (9) 略史 15 世紀 アラダ王朝  
17 世紀アラダ、アボメー、アジャチェ(後のポルトノボ)の 3 王朝に分裂  
1894 年 フランスが 3 王国を統合して、ダオメー植民地となる  
1904 年 フランス領西アフリカに編入  
1946 年 フランスの海外領土となる  
1958 年 フランス共同体の自治共和国となる  
1960 年 ダオメー共和国として独立、憲法公布、マガ大統領選出  
1963~1972 年 5 度の軍事クーデター  
1972 年 ケレク大統領就任  
1975 年 国名を「ベナン人民共和国」に変更  
1979 年 国民革命議会( ANR)人民委員選挙(民政移管を果たす)  
1989 年 マルクス・レーニン主義の放棄、憲法改正などを発表  
1990 年 国民議会開催、ニセフォール・ソグロ氏を首相に選任  
憲法改正案が国民投票で承認される  
国名を「ベナン共和国」に変更  
1991 年 総選挙、大統領選挙実施、ソグロ氏大統領に就任  
1993 年 最高裁判所設立  
1996 年 ケレク大統領が再選、ウンベジ首相新内閣発足  
1998 年 ウンベジ首相辞任、ケレク大統領新内閣発表  
1999 年 国民議会選挙  
2001 年 ケレク大統領が再選  
2003 年 国民議会選挙

- 2006年 ボニ・ヤイ大統領選出。新政権発足
- 2007年 国民議会選挙
- 2008年 内閣改造
- 2009年 内閣改造
- 2010年 内閣改造
- (2011年 3月 大統領選挙および国会議員選挙)
- (10)在留日本人 約78人(2009年9月)
- (11)気候 南部は赤道型で、大乾期(11～3月)、大雨期(4～月)、小乾期(7～9月)、小雨期(9～11月)の4期に分かれ、年間降水量は1,300mm程度、気温は20～34である。海岸から離れるにつれて、乾期が長くなる。北部は乾期(12～5月)と雨期(6～12月)の2期に分かれ、年間降水量は950mm、気温は8～42と、季節、昼夜によって大きな差がある。12～3月の間、サハラからハルマツタンと呼ばれる乾燥した焼けつくような砂混じりの風が吹く。

【参考】

『外務省ホームページ-各国・地域情勢』外務省

『最新世界各国要覧』東京書籍

『世界人口白書』国連人口基金

## 2.業務のための基礎データ

### (1)JICA事務所の概要(ベナン事務所)

住所：JICA/JOCV BENIN OFFICE

Djomehountin Haie-vive Ilot 628-G, Cotonou, R.P. Benin

郵便物宛先：JICA/JOCV Benin Office, 01 B.P. 7097, Cotonou, R.P.Benin

連絡先：国番号：229

市外局番：なし

電話：+229-21309907 / 21309908

FAX：+229-21309906

執務時間：8:00～17:30(昼休み 12:00～14:30)

休日：下記祝日と土曜日、日曜日

1月1日 New Year

1月11日 Coming of Age Day(J)

2月11日 Commemoration of the Founding of the Nation (J)

2月26日 Muslim celebrate Mouloud(イスラム教の祭日により変更あり)

4月5日 Day after the Easter Day

4月29日 Day of Showa (J)

5月13日 Ascension Day

5月12日 Whitsun Day

5月24日 Day after the Whitsun Day

7月19日 Day of Sea (J)  
 9月10日 Muslim celebrate RAMADAN(イスラム教の祭日により変更あり)  
 11月1日 Toussaints, All Saints' Day  
 11月3日 Culture Day(J)  
 11月16日 Muslim celebrate TABASKI(イスラム教の祭日により変更あり)  
 11月23日 Labor Thanksgiving Day(J)  
 12月23日 The Emperor's Birthday(J)  
 12月29日 End-of Year Holiday (J)  
 12月30日 End-of Year Holiday (J)  
 12月31日 End-of Year Holiday (J)

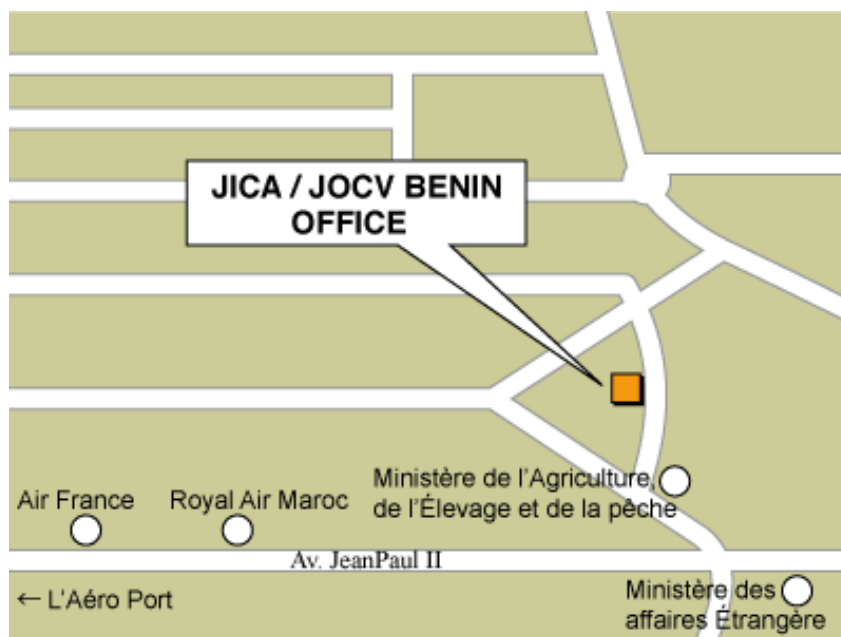
(2010年) (J)は日本の祝日

#### ホテルまでの交通:【空港から】

マリーナホテル、ノホテル、イビスホテルに泊まる場合は、ホテルの車が空港にきているので、乗車できる。空港から各ホテルまでは車で約5分の距離である。その他のホテルでもホテル～空港間の送迎をしてくれているところもあるので、予約の際に確認するとよい。

あらかじめ関係者に到着を知らせておき、出迎えを依頼しておくのもよい。また何かの事情で出迎えがない場合は、白タクを利用することとなる。空港と市内中心部(約7キロメートル)間は約3,000FCFA(アッパッパ以降は5,000FCFA)であるが、乗車前にはっきりと値段を運転手と交渉すること。夜間や早朝は金額が決まっておらず、料金は割増となる。

#### (2)JICA事務所周辺地図



- (3) 日本との時差、サマータイム      日本との時差: - 8時間  
サマータイム : 該当情報なし
- (4) 祝日、官公庁の休日      上記「(1)休日」を参照。
- (5) 通貨      通貨: CFAフラン
- (6) 通貨レート      最新の為替レートは、以下のサイトで確認のこと。  
<http://www.Bloomberg.co.jp/analysis/calculators/currency.html>  
(「ブルームバーグ 為替レート計算」)
- (7) 関係機関      【在外日本関係機関】  
在ベナン日本国大使館  
08 B.P.283, Cotonou, Benin  
Tel:(+229)-21305986 Fax:(+229)-21305994
- 【官公庁】  
当国政府には、次のような省庁がある。(2010年7月現在)
- ・Ministère d'Etat Chargé de la Prospective, du Développement, de l'Evaluation des Politiques Publiques et de la Coordination de l'Action Gouvernementale (MECPDEPPCAG)  
予測・開発・政策評価、政府事業調整担当国務省  
TEL 21-30-00-30 21-30-05-41 21-30-07-42
  - ・Ministère d'Etat Chargé de la Défense Nationale (MECDN)  
国務・国防担当省  
TEL 21-30-19-88 21-30-05-36 21-30-08-90
  - ・Ministère de l'Intérieur et de la Sécurité Publique (MISP)  
内務・公安省  
TEL 21-30-19-96 21-30-11-37 21-30-11-06
  - ・Ministère de la Décentralisation, de la Gouvernance Locales, de l'Administration et de l'Aménagement du Territoire (MDGLAAT)  
地方分権・地方自治体・国土整備省  
TEL 21-30-19-96 21-30-11-37 21-30-11-06
  - ・Ministère des Affaires Etrangères, de l'Intégration Africaine, de la Francophonie et des Béninois de l'Extérieur (MAEIAFBE)  
外務・アフリカ統合・仏語圏・在外ベナン人省  
TEL 21-30-04-00 21-30-16-70 21-30-09-29
  - ・Ministère de l'Economie et des Finances (MEF)  
経済・財務省  
TEL 21-30-02-81 21-30-10-20 21-30-11-17

- ・Ministère de l'Agriculture, de l'Élevage et de la Pêche (MAEP)  
農業・畜産・漁業省  
TEL 21-30-01-87 21-30-04-10 21-30-04-96
- ・Ministère de l'Industrie, Porte –Parole du Gouvernement (MI /PPG)  
工業・政府報道省  
TEL 21-30-76-45 21-30-76-46 21-30-76-47
- ・Ministère du Commerce (MC)  
商業省  
TEL 21-30-76-45 21-30-76-46 21-30-76-47
- ・Ministère chargé des Petites et Moyennes Entreprises et de la Promotion du Secteur Privé (MPMEPSP)  
中小企業・民間部門促進担当省  
TEL 21-30-76-45 21-30-76-46 21-30-76-47
- ・Ministère de l'Énergie et de l'Eau (MEE)  
エネルギー・水利省  
TEL 21-31-29-07 21-31-29-24
- ・Ministère des Recherches Pétrolières et Minières (MRPM)  
石油・鉱山探索省  
TEL 21-31-29-07 21-31-29-24
- ・Ministère de la Santé (MS)  
保健省  
TEL 21-33-21-41 21-33-21-78
- ・Ministère de l'Enseignement Maternel et Primaire (MEMP)  
就学前・初等教育省  
TEL 20-21-33-27 20-21-52-48
- ・Ministère de l'Enseignements Secondaires, de la Formation Technique et Professionnelle (MESFTP)  
中等教育・技術職業訓練省  
TEL : 21-32-14-77
- ・Ministère de l'Enseignement Supérieur et de la Recherche Scientifique (MESRS)  
高等教育・学術研究省  
TEL 21-30-19-91 21-30-06-81
- ・Ministère du Travail et de la Fonction Publique (MTFP)  
労働・公職省  
TEL 21-31-31-12 21-31-26-18

- ・Ministère de la Jeunesse, des Sports et des Loisirs (MJSL)  
青年・スポーツ・余暇省  
TEL 21-30-36-00 21-30-36-14
- ・Ministère de l'Artisanat et du Tourisme (MAT)  
観光・工芸省  
TEL 21-30-70-10 21-30-70-14 21-30-70-15
- ・Ministère de la Famille et de la Solidarité National(MFSN)  
家族・国民連帯省  
TEL 21-31-67-07 21-31-67-08
- ・Ministère de la Réforme Administrative et Institutionnelle (MRAI)  
行政・機構改革担当省  
TEL : 21-30-25-70, 21-30-85-58
- ・Ministère de la Culture, de l'Alphabétisation et de la Promotion des Langues Nationales (MCAPLN)  
文化・識字・国家言語促進省  
TEL 21-30-70-10 21-30-70-14 21-30-70-15
- ・Ministère de l'Environnement et de la Protection de la Nature : (MEPN)  
環境・自然保護省  
TEL 21-31-50-58 21-31-55-96
- ・Ministère de la MicroFinance et de l'Emploi des Jeunes et des Femmes (MMFEJF)  
小規模融資・青年女性雇用省  
TEL : 21-30-82-08, 21-30-82-00
- ・Ministère de l'Urbanisme, de l'Habitat, de la Réforme Foncière et de la Lutte Contre l'Erosion Côtière (MUHRFLCEC)  
都市計画・住環境・土地改革・沿岸侵食対策省  
TEL 21-31-50-58 21-31-55-96
- ・Garde des Sceaux, Ministère de la Justice, de la Législation et des Droits de l'Homme (GS/MJLDH)  
国璽尚書・法務・法制・人権省  
TEL 21-30-63-02 21-30-00-67
- ・Ministère chargé des Relations avec les Institutions (MCRI)  
制度関係担当省  
TEL 21-30-60-93 21-30-78-95
- ・Ministère délégué auprès du Président de la République, Chargé de la Communication et des Technologies de l'Information et de la Communication (MDCCTIC/PR)

大統領府付通信・情報技術・広報担当省

TEL 21-31-22-27 21-31-23-07 21-31-43-34

・Ministère Délégué auprès du Président de la République, Chargé des Transports Terrestres, des Transports Aériens et des Travaux Publics (MDCTTTATP/PR)

大統領府付陸運・空輸・公共事業担当省

TEL 21-31-21-00 21-31-39-92 21-31-46-33

・Ministère Délégué auprès du Président de la République, Chargé de l'Economie Maritime, des Transports Maritimes et Infrastructures Portuaires (MDCEMTMIP/PR)

大統領府付海上経済・海運・港湾整備省

TEL 21-31-21-00 21-31-39-92 21-31-46-33

## Part 2 生活情報

「生活情報」は特に記載のない限り、JICA事務所のある都市の情報を中心に掲載しています。

## 1. ホテル、住宅



## 1-1 ホテル

一流ホテルとしてはマリーナホテル(旧シェラトン)、ノホテルがあり、それに続いてイビスホテル(ビジネスホテル)がある。二流ホテルとしてはホテル・レジデンス・ココティエ、ホテル・ドゥ・ラック(1993年に再オープン)、ホテル・ドゥ・ポー、ホテル・ドゥ・ラ・プラージュがある。フランス系のホテルアレジオは、建物の老朽化および周辺地域の治安状況悪化などの理由から利用はお勧めしない。

業務出張者が通常利用するのは、マリーナホテル、イビスホテル、ココティエまたはホテル・ドゥ・ラックである。

日本人がよく利用するホテル(2010 7月現在)(単位:CFAフラン)

Hôtel Ibis

電話 21.30.56.77

住所 Boulevard de la Marina

料金 Standard 58,000CFA

Hôtel Marina

電話 21.30.01.00

住所 Bld. de la Marina(空港近く)

料金 Bungalow 155,000CFA

Standard 134,000CFA

Studio 83,500CFA

Hôtel Residence les Cocotiers

電話 21.30.66.49/21.30.67.62

Fax 21.30.66.36

料金 Double 42,500CFA

Single 38,000CFA

Hôtel du Lac

電話 21.33.19.19, 21.33.16.15

住所 Akpakpa Dodome

料金 Studio 40,500CFA

Standard 45,500CFA

Novotel

電話 21.30.56.62, 21.30.56.70

住所 Bld. de la Marina

料金 Studio 85,500CFA

Standard 85,500CFA

Hôtel de la Haie-Vive

電話 21.30.46.96  
 住所 Haie-Vive  
 料金 Catégorie 1: 27,000  
           Catégorie 2: 35,000  
           Catégorie 3 : 40,000  
           Catégorie 4 : 50,000

Hôtel du Port

電話 21.31.44.43, 21.31.44.44  
 住所 Bld. de la Marina  
 料金 Studio 39,100CFA  
           Standard 43,600CFA

Terra Mistica

電話 21.31.62.68, 21.31.78.59  
 住所 Camp Guezo  
 料金 Standard 38,250CFA  
           Superieure 46,750CFA  
           Luxe/Suite 55,250CFA

**1-2 住宅事情**

コトヌやポルトノボでは欧米や中国からの外国人が増加しており、広さ、値段とも適当な家を見つけるのは容易ではない。一戸建て家屋は標準 4～6LDK、家賃は地区によって差があるが、おおよそ450,000CFA～1,500,000CFA、2LDKぐらいのアパートでは150,000CFA～250,000CFAである。

**1-3 住宅の探し方**

住宅斡旋をアルバイトとする仲介人が多く存在し、彼らの紹介で家を見つけたり、不動産業者に依頼したりする場合もある。不動産業者はコトヌに 5～6 店あるが、保持する物件数が少ないため、実際にはスーパーマルシェの貼紙広告や、「A LOUER」の貼紙のある空き家を探す。主な不動産業者は以下のとおりである。不動産業者に依頼した場合は、一ヶ月分の家賃額を謝金として支払う。仲介人の場合は一ヶ月分の仲介料を請求してくるが、交渉によって値段を下げる事が可能。しかしトラブルを避けるために、大家との契約前に仲介料について充分話し合う必要がある。また、仲介人は空き家の斡旋をするのみであり、大家との契約手続きには一切関わらない。

なお、アパートは存在するが、現在ベナンに住む邦人の多くが一軒家に住んでいる。Akpapak 地区や Fidjirrossè 地区には家具付長期滞在者向けアパートがあり、関係者が多く利用している。

コトヌ市内不動産業者

- ・Proximmo Sarl      lot 120 zone residentielle (UNDP の近く)
- ・Benin Immobilier      c/964 Place de l'Etoile Rouge

#### 1-4 住宅選定上の留意点

コトヌ市内には、空港近くにココティエ地区高級住宅街、町の中心寄りにゾーン・レジデエンシャル、中心街を抜けてポルトノボ途上路にカルチェ・ジャック地区がある。ほぼ一戸建て、通常自家用車庫が設置されている。

#### 1-5 住宅の契約

住宅の契約は家主によって条件が異なる。直接家主と契約を結ぶ場合と、家主の公証代理人と結ぶ場合とがある。不動産屋が介入していれば、その仲介のもとに家主と契約を結ぶ。

通常は 1 年契約で、1 年ごとに更新できるものとする。交渉次第であるが、多くの場合 3 ヶ月分の家賃の前払いと、3 ヶ月分の保証・担保金を契約時に要求される。契約期間終了の予告も交渉次第であるが、通常 3 ヶ月前までに文書によって通知することが契約書に記載される。大家によって契約書の内容が様々であるが、契約時には十分に内容を把握し、必要であれば内容の修正を要求した後に確認のうえ署名をする。

登記を行う場合は住居区内の区役所で手続きを行う。登記を行わない場合も多いが、大家とのトラブルを避けるために、行った方がよい。契約後は住居の在する地区にて住民登録を行う(地区によって登録料が異なるが、一般的に 5000CFA ~ 10000CFA である)。

#### 1-6 電気、ガス、水道などの手続きと管理

電気、水道は国営の電気会社(SBEE)と水道会社(SONEB)がある。入居前に各会社にてメーター申請と保証・担保金の支払いを必要とするが、多くの場合は家主の名義で既に登録してあるため、大家と相談して登録の必要性を確認する。前居住者がいた場合は、転居の際に使用料金を未払いで転出している場合があるので、入居時にメーターを確認し、未払い分は大家に支払いを要求する。電気代、水道代は検針者が請求書を届けに来るため、請求書に指定されている支所に支払いに行くこと。請求書は毎月届かず、数か月分の請求がまとめて届くこともある。なお、支払い期限以内に支払いを済ませないと、供給を止められてしまうため、注意すること。

また、電気はメーター式の他にチャージ式もあり、この場合は随時電気会社でチャージを購入することになる。

電話架設依頼は、まずガンビ市場にあるベナンテレコムに出向き申請を行う。その後、電信電話局(OPT)にてさらに申請が必要である。既に電話回線が設置

されている住居であり、電話交換機の空きがあれば、番号をすぐに取得できる。しかし新規設置の場合は数ヶ月の時間を要する。なお技術手数料として70,000CFAほど、保証金として27,000CFAほどを申請時に支払う。

電話料金の支払いは、請求書が私書箱に郵送されてくるので、請求書を持って郵便局の電信電話部門の窓口で払う。期限内に支払わないと回線を切られ、再接続には罰金として9,000FCFAを払わなければならない。

なお、ベナンテレコムでは電話回線を利用しない無線電話機(ZéKéDé)を50,000cfa程度で販売しており、こちらを利用すればインターネットの接続も可能で、手軽に利用できる。

### 1-7 家電

#### Mayfair (Electroménager)

電話 21.31.50.94

住所 Avenue Clozel (Ganhi)

#### ELECTRO HALL

電話 21.31.31.41, 21.31.49.32

住所 Avenue Clozal (Ganhi)

#### EREVAN (Hypermarché)

電話 21.30.84.40

住所 Boulevard CEN-SAD

### 1-8 家具保険

該当情報なし

### 1-9 その他

該当情報なし

## 2. 衣料、理容



### 2-1 衣料全般

#### (1) 一般事情

年間を通じて暑く、夏服でほぼ間に合う。オフィスでも年中半袖シャツで過ごせる。しかしハルマッタンの時期や雨季は朝晩冷えるため、カーディガン、長袖の服、靴下等があるとよい。当地でも衣料品は手に入るが、大きなサイズのものが多く、また割高になるので、日本から持参するほうが望ましい。なお、仕立屋で背広やズボンをオーダーすることは可能。布は市場や生地屋で入手できる。また、品質を問わなければ、古着や新古品を販売する店もある。

#### (2) 日本から持参したほうがよい衣料

日本人の体型に合う衣料はあまりないため、サイズの合った衣料(シャツ、Tシ

シャツ、ポロシャツ、ズボン、短パン、スカートなど)を多めに日本から持参する方がよい。気温が年中高く湿気も高いため、汗の量が多い。したがって頻繁に洗濯をする必要があり、また、衣類に虫がつき皮膚病にかかるのを防ぐため、アイロンを充分にかけるため、消耗が日本以上に激しい。帽子、下着、靴下、靴(スニーカーや革)、水着類も持参する。赤ちゃんや子供用も持参したほうがよい(赤ちゃんは、日本と気候が異なるため、オムツが肌に合わないことが多いとの情報がある。布オムツがある場合は、持参したほうがよい)。

#### (3) 現地で調達したほうがよい衣料

当地では種類は多くないが、フランスから輸入したプレタポルテを扱うブティックが数店ある。サイズの大きい商品が多いが、サイズ直しを頼むことも可能。シンプルなデザイン等を好む場合は、出来るだけ日本から持参した方がよいと思われる。

子供用品に関しても特に任国で調達した方がよいものはない。なお、ヨーロッパからの輸入品を扱うブティックもある。デザインや質を問わなければ、日本の量販店で扱うようなアジア各国からの衣料品が市場などで手頃な値段で入手できる。

#### (4) その他の留意点

男性の背広は、夏物を持参した方がよい。スポーツ用の衣料品(運動着、水着など)もサイズの合ったものを日本から持参した方がよい(なお、野球道具は任国では手に入らない)。

## 2-2 礼装

### (1) パーティー

男性はスーツ、女性はフォーマルなワンピース(イブニングドレスなど)を着用する。

### (2) 式典

当地のものを含め、あらゆる式典用にダークスーツ(濃紺など) 1着あれば間に合う。戸外で行なわれる式典などは暑く、長時間にわたることもあるので、女性は綿などのワンピースをフォーマル用として持参した方がよい。民族衣装も正装とみなされるため、任国にてオーダーしてもよい。

### (3) 冠婚葬祭

葬式に出席する場合には、黒い服を着る必要はない。結婚式等ではオーダーメイドの民族衣装を着用してもよい。

### (4) その他の留意点

該当情報なし。

## 2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

### (1)洗濯

コトヌにはドライクリーニング店が多く存在する。水洗い、ドライとも可能である。店によっては仕上がりが雑な場合もあるので、高価でない衣類のクリーニングを依頼して、仕上がりを確認してから利用した方がよい。

### (2)仕立て、修繕

男女・子供用とも普段着程度なら比較的安価で仕立て注文ができる。修繕も同様に仕立店で行える。祝祭日間際では注文期限通りに仕上がらないことも多いので、早目に注文をしておく必要がある。靴の修繕も可能である。

### (3)保管

湿気が高いので、防虫、防かびなどが必要であり、衣料は風通しの良い場所へ保管する。防虫剤は当地でも購入できる。少しでも汚れが残っているとカビが生えやすいので、洗濯は充分にする必要がある。

## 2-4 美容院、理髪店

フランス人、レバノン人経営による美容院の他、現地の人々が編込みをする美容室もある。外国人がよく利用する美容院(理髪も可能)は、マリーナホテル内の美容院。英語も通じる。基本的にアジア人の髪の毛に慣れていないため、仕上がりは期待しないほうがよいが、希望をはっきりと伝えること。また、希望の髪型の写真があれば、持参したほうがよい。マリーナホテルの美容院では、ヘアケア用コンディショナー、ネイルケアなどもある。また、痩身、マッサージを行うエステ・サロンも最近増えている。なお、現地向け以外の理髪店は、美容院兼である。値段は6,000FCFA～8,000FCFA くらいである。(現地の床屋は500～2,000FCFA くらい)

なお、自分で散髪する人は、散髪用ハサミやバリカンを持参したほうがよい。

女性用化粧品については、当地でフランスからの輸入品が入手できるが、普段使用している自分に合ったものを持参した方がよい。また、日焼け止めクリームも持参した方がよい。

## 3. チップ



### 3-1 チップ事情

#### (1)習慣の有無

特に決まりはない

#### (2)各種サービスに対するチップ

レストランなどでは、飲食代にもよるが釣銭のなかから数百FCFAの硬貨をテーブルに置くのが一般的である。ホテルなどのサービスに対しては、気分の良いサービスを受けたという印象を持った時に50FCFA～100FCFA程度を手渡せば良い。空港のポーターに関しては、料金は決まっていないので利用する

場合は、依頼する前に値段を確認したほうが無難である。通常は、カート1台につき1,000FCFAである。ポーターによっては法外な値段を要求する場合もあるので気をつける。本来は、旅行者自身がカートを利用する場合は、無料である。

## 4. 食生活



### 4-1 外食

#### (1) 飲食店

日本料理店はないが、中華、タイ、ベトナム料理などのアジア系料理や洋食料理店がある。6月頃から8月にかけて不定期に夏季休暇で休業する店もある。(2010年8月現在)

#### アジア

- ・Bangkok Terrace ...Camp Guezo 地区、UNDP の近くの通りにあるタイ料理。店内が広く、雰囲気がよい。
- ・Jasmin...Cocotier 地区の通りにある中華料理。
- ・Hong Kong ...Cadjehoun 地区の近くの UNICEF の通りにある中華料理。ギョーザやラーメンなど、日本人の口に合うメニューもある。生ビールもあり、自家製豆腐を販売してくれる。
- ・Hai King ...Cadjehoun ロータリーにある中華料理。ギョーザもある。生ビールもあり、中国人客で賑わっている。
- ・Shamiana ...JICA 事務所のそばにあるインド料理。ベジタリアンメニューもある。
- ・Royal Garden ...Cocotier 地区の通りにあるインド料理。
- ・Thaitan ...Cocotier 地区の通りにあるベトナム料理。
- ・Jardin de Chine ...エールフランス航空、モロッコ航空のある通りにある中華料理。

ヨーロッパ 6月～8月にかけて不定期に夏季休暇となるところもある

- ・Casanova ...UNICEF のななめ向かい側、Festival des Glaces の隣のイタリアンレストラン。アルデンテのパスタが食べられるのはベナンではこの店のみ。牛肉のカルパッチョがある。
- ・Sorrento ...サンミッシェル通りの土産物の村のとなりにある Hall des arts の奥に位置するイタリアンレストラン。フランス料理もあるためメニューが多い。
- ・TERANGA ...Cocotier 地区と Cadjehoun 地区が対面する通りの Cadjehoun 側に面するレストラン。レバノン、フランス、イタリア料理で、生ビールやピザもある。日曜日はビュッフェで、気軽な雰囲気である。

- ・Living Stone ...Cocotier 地区と Cadjehoun 地区が対面する通りの Cadjehoun 側に面するフランス系レストラン。生ビール、釜焼きピザがあり、常に外国人で賑わっている。土曜日は 18 時～20 時がハッピーアワーで、2 杯目の飲物が無料サービスとなる。
- ・Sud Ouest ...Cocotie 地区と Cadjehoun 地区が対面する通りから Cadjehoun 側の道を入った奥に位置するレストラン。フランス料理で肉料理が得意。
- ・Hotel du Lac ...Akpakpa にあるホテルのレストラン。西洋料理、イタリアン、ベナン料理、レバノン料理と多彩。
- ・Berlin ...旧橋の右側にあるドイツレストラン。土曜日はブッフェとなる。シュークルート等の本格ドイツ料理が味わえる。
- ・Beer Garden ...Akpakpa の海岸に面したドイツレストラン。生ビールがあり、海を眺められるロケーション。

(その他)

- ・ORIENTAL ...Cocotier 地区にあるレバノン料理、生ビールあり。
- ・ROUSSKI DOM ...JICA ベナン支所横、ロシア料理。ボルシチ、ロシア風餃子など、高級感のある内装。

ベナン料理

- ・Maman Benin ...Bd.St.Michel から少し北に入ったところにあるレストラン。少し上品な味のベナン料理。
- ・Maquis Pili Pili ...グランモスケから北に進み Bd.St.Michel に到達する手前を左に入ったところにある。肉や魚のプレートメニュー。
- ・Maquis Clarisse ...アメリカ大使館のすぐそば、ベナン料理のほかアフリカ料理がある。

アフリカ料理

- ・Chez Ami(コートジボワール料理)...カテドラルの横の十字架ビルを右に入って、2ブロック行ったところの角にある。
- ・Maquis Dunyq(サヘル料理)...サンミッシェルの前の通りを南に下った右側にあるアフリカ民芸風の装飾がある。
- ・Chez Fatou(セネガル料理)...サンミッシェルの前の通りを南に下り、ジョンケ地区のモスク手前を右に入ったところにある。Demi Plat(半分の量)でも注文可、テイクアウトを注文する客も多い。メニューはチェブ・ジェン(赤・白)、ヤッサのみ
- ・O'GRILL(焼き物)...ガンヒ市場の前、Societe Generale 銀行の近くにある大きな藁葺き屋根が目印。
- ・Chez Tranquille ...Financial Bank のある通り、BECEAO 側にある。

### 軽食・ファーストフード・カフェ

- ・Gerbe D'or ...ガンビ市場の向かい側(電器屋 MAYFAIR の隣)パン屋の2階。日本の老舗喫茶店のような落ち着いた雰囲気。サンドイッチが多種ある。無線 LAN が整備されており、パソコンを持ち込み、インターネットに接続可能である。
- ・Fast Food ...ガンビ市場の並びにあるレバノン料理のファーストフード。シャワルマとよばれるレバノンサンドイッチは安価で日本人の口に合う。
- ・Festival des Glaces ...朝食、ハンバーガー、サンドウィッチ、アイスクリーム、ケーキ、ピザなど。テイクアウトも可能。Cadjehoun 地区のロータリーと Av. Mgr STEINMETZ、Cinema Concordeの3店。

### (2)その他の飲食店

ディスコはマリーナホテル内のテケ (Teke)、町のなかにあるニューヨーク (New-York)、パラダイス(ガンビ)、アブソリュ (空港の近く) などがある。

## 4-2 食料

### (1)一般事情

民主化の波に伴い食料事情も改善され、一般的なものは食料品店(スーパーマルシェ)や、市場(マルシェ)で入手できる。構造調整計画の一環として農業の奨励に力を入れており、当地の人も食料危機などに直面することもなく、日常においては食料品の入手に苦労することはない。しかし最近では、世界的な穀物や石油価格の高騰による物価上昇の勢いは国民の生活を逼迫するほどまで深刻化している。

食料品の大部分をフランスなどのヨーロッパやインドおよび中国などのアジア諸国からの輸入に頼っているため、一度品切れしたものが再度入荷されるまでに半年以上かかることもよく見られる。日本食料品店はなく、日本の食料品もほとんど売られていない。なお、インド人やレバノン人経営の食料雑貨店では、中国、シンガポール、タイ、ベトナムのアジア諸国製の醤油類、春雨や麺類、きくらげやしいたけなど乾物類なども買うことができる。また、中華料理レストラン、コトヌ市中心にあるガンビ市場では木綿豆腐を購入することができる。

食品の衛生面については、スーパーなどで購入する限り問題はないが、賞味期限が過ぎた製品も売られているため、常に注意する必要がある。

### (2)主な食品の出回り状況

米・小麦粉 - - 市場やスーパーなどでタイ産やインド産の米(インディカ米)が常時売られている。自然食品を扱う店では玄米も売られている。

小麦粉は、スーパーで売られているが、多くが中力粉である。品切れになる時期もあるが、一部のパン屋で常時分けてもらえる。

パン - - 町中にパン屋(ブーランジェリ)があり、バゲット(フランスパン)や日本の菓子パン風の柔らかいパン、ガーナ、トーゴ、ナイジェリアから輸入されたパンを売り歩く売り子も沢山おり、パン類は常時購入できる。パン屋では、バゲットの他にシリアルパン、ブリオッシュ、クロワッサン、チョコレートパン、レーズンパン、アップルパイなどのパイ類、バゲットのサンドイッチなど様々なパンが売られている。

肉・乳製品・卵 - - 市場やスーパーで、牛、豚、山羊、子山羊、鶏(冷凍でホルの輸入品)などの肉が調達できる。また、ベーコン、ハム、ソーセージ、パテ等の肉加工品(輸入品)は、スーパーで量り売りされている。卵は、スーパーや自然食品を扱う店で常時鮮度の高いものが売られている。なお、近隣国でのSARS(鳥インフルエンザ)の発見ニュースが流れると、農業水産家畜省の判断により、一切売られなくなることもある。

乳製品は、スーパーでロングライフの牛乳、スキムミルク、コンデンスミルク、生クリーム、バター(有塩・無塩)が売られている。また、鮮度はよくないが、フランス製のエメンタル、ロックフォール、ブリ、コンテ、パルメザンなど様々なチーズがスーパーで切売りされている。

野菜・果物 - - ベナン産の野菜の他、トーゴ、ナイジェリア、ブルキナファソなど近隣諸国からの輸入品も多い。タマネギ、トマト、じゃがいも、オクラはほぼこの市場でも一年中購入できる。一般的には、外国人が多いガンビ市場やスーパーマルシェの駐車場に設置された小さな八百屋では、にんじん、レタス、きゅうり、キャベツ、ナス、ピーマン、青ネギ、インゲン豆、アボガドなどが売られている。曜日によって、もやし、アンディーブを売っているスーパーマルシェもあり、ガンビ市場では、大根、にら、青梗菜、白菜、つるむらさき、ズッキーニ、カリフラワーが購入できる。果物は、輸入品が多いが、市場やスーパーマルシェで、レモン、バナナ、パイナップル、パパイア、マンゴ、オレンジ、スイカ、りんご、巨峰、西洋ナシなどが売られている。季節により価格の変動が激しい。

魚類 - - コトヌの港の魚市場では鮮魚、スーパーマルシェなどでは冷凍の魚が売られている。魚市場では、刺し身にできるような新鮮な魚(アジ、タイ、サワラ、マグロなど)や、高価であるが、イカ、車えび、イセエビ、カニなども常時売られている。冷凍魚(輸入品のアジ)は町の小さな冷凍食品屋で安価で売られている。また、魚(淡水魚を含む)やエビの燻製などを売って歩く売り子も沢山いる。

調味料・香辛料 - - 中国製の醤油はスーパーマルシェで購入可、高価であるが稀にキッコーマン醤油や七味を売っていることもある。スーパーにはうまみ調味料(日本製ではない)が売られている。その他の中華料理、インド料理、アラブ料理、西洋料理用の調味料・香辛料はスーパーマルシェで購入可能。特にフランス料理用の調味料・香辛料は多種揃っている。

食用油 - - スーパーマルシェでは、輸入された大豆油、コーン油、植物油、なたね油、オリーブオイルなど売られており、ごま油も時々見かける。また、市場では、当国産の落花生油、綿実油、ヤシ油が売られている。

酒 - - 当国産のビールのほか、ナイジェリア、トーゴのビールも市場などで売られている。ハイネケンなど数種の輸入ビールは、どこのスーパーマルシェでも購入可、また輸入品のウイスキーやリキュール類も多種あり、フランス他、イタリア、南アフリカ、レバノン産等のワインも多種揃っており、ワイン専門店もある。

飲料水 - - 水道水は飲料水として使用できるが、濾過、煮沸した方がよい。1Lペットボトル入りのミネラルウォーターよりも安価な国産の家庭用19L入りミネラルウォーターがスーパーマルシェで売られている。また、輸入品のミネラルウォーターはスーパーマルシェや市場で売られているが、当国産のミネラルウォーター（ポソメ、フィファ）が一般的である。清涼飲料水も当国産と輸入品があり、品数も多い。

菓子 - - ヨーロッパや中東など、各国から輸入されたチョコレート、ビスケット、菓子類がスーパー、市場で入手できる。

### (3) 食料の入手

上述の通り、野菜、果物、新鮮な当国産の肉類（牛、豚、山羊・子山羊）はコトヌの中心にあるガンヒ市場で購入できるが、肉類は午前中にはほぼ売り切れる。肉類は定価であるが、野菜や果物はすべて交渉で値段が決まる。野菜と果物に関しては、ガンヒ市場の他に、Cocotier地区とCadjehoun地区が向かい合った通りの一番奥の野菜市場や、スーパーマルシェの駐車上に設置された八百屋で購入することもできる。なお、スーパーマルシェでは、輸入の肉類・乳製品・卵などの食品のみならず、日用雑貨類を常時定価で買うことができる。価格は、店ごとに異なる。主なスーパーは、空港近くのEREVAN、Cocotier地区とCadjehoun地区が向かい合う通りにSupermarche Du Pont、La Championneなどあり、UNICEFと同じ並びにStar Light、Missebo地区には、インド人オーナーのMayfair、レバノン人オーナーのSODITEX、Akpakpaなどがあり、カナダ通りにあるFranc Prixではケース買の飲物を安価で販売している。

## 4-3 食器、調理器具

### (1) 食器、調理器具などの入手

和食器・調理器具はないが、フランス人オーナーやレバノン人オーナーの雑貨店で、フランス製などのヨーロッパ製食器・調理器具が購入できる。また、市場（マルシェ）や他のスーパーマルシェには、安価な中国製の食器・調理器具が売られており、アルミ箔やラップ類も含め、質を問わなければ入手可能。ガンヒ市場の入り口にあるフランス人の経営するDroguerieでは質の高い食器、調理器具が購入可能である。また、中国製品等を多く扱うジェリコ地区の雑貨店Orcaでは、質は少々落ちるが安価な食器や調理器具等を揃えることができる。

電器製品は、機能・品質・デザインを問わなければ多くのものが入手可能。また、高価であるが日本のメーカーの製品も売られている。電池もスーパーマルシェなどで入手可能である。

#### (2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具

和食器 - - 飯用椀、汁用椀、湯のみ茶碗、小鉢、急須、茶托、ステンレス製ざる・ボウル、流し台用プラスチック製三角コーナー、小さいフォーク、菜箸、箸、箸置き

中国製の箸は購入可

調理器具 - - 包丁、砥ぎ石、すりばち、しゃもじ、

その他 - - 電気炊飯器、特殊な電池・充電式電池

単1～単4サイズの充電電池は高価であるが購入可能

## 5. 生活用品の購入



### 5-1 家電製品

主な家電製品販売店は以下の通り。

・ELECTRO HALL(Tel:21313141/21314932)

Clozel通りのRoyal photo(FUJIFILM)横

・MAYFAIR(Electroménager)(Tel :21315094)

Clozel通りの洋品店(VLISCO)横

・EREVANE(Hypermarché)(Tel :21308440)

空港近くのCEN-SAD通り

### 5-2 家具

コトヌ市内には多くの家具販売店が存在し、既製品を購入することができる。サイズやデザインを指定して家具職人に作ってもらうほうが安価である。

### 5-3 日用品、雑貨

各所に点在するスーパーで調達可能。

空港近くのEREVANEは、少し高価であるが品揃えも豊富である。

### 5-4 工具、素材など

主な販売店は以下の通り。

・La ROCHE(Tel:21334756)

・EREVANE(Hypermarché)(Tel :21308440)

## 6. 金融機関



### 6-1 金融機関

#### (1) 銀行

主な銀行は次のとおりである。

- ・Bank of Africa Benin  
Avenue Jean Paul II (B.P. 08-0879, Cotonou)  
TEL 21-31-32-28  
Fax: 21-31-31-17
- ・Financial Bank (Siege Social)  
01 B.P. 2700, Cotonou  
TEL 21-31-31-00  
Fax: 21-31-31-02
- ・Banque Internationale du Benin  
Carrefour des Trois Banques, Cotonou (B.P. 03-2098,Cotonou)  
TEL 21.31.55.49, 21-32-15-01  
Fax: 21-31-23-65
- ・ECOBANK BENIN  
Rue du Gouverner Bayol  
01 B.P. 1280, Cotonou  
TEL 21-31-40-23  
Fax: 21-31-33-85
- ・Société Générale de Banques au Bénin  
Avenue Clozel  
01 BP 585 Cotonou  
TEL : 21.31.83.00  
Fax : 21-31-82-42
- ・Diamond Bank Benin  
Rue 308 Révérend Père colineau  
01 BP 955, Ganhi, Cotonou  
TEL : 21.31.79.27, 21.31.79.28  
Fax : 21-31-21-42
- ・Banque Atlantique Bénin  
Rue du Gouverneur Bayol  
08 BP 0682  
TEL: 21.31.10.18, 21.31.10.19  
Fax : 21-31-31-21
- ・Continental Bank Bénin  
Avenue du Pape Jean Paul II

01 BP 2020

TEI : 21.31.24.24, 21-31-33-93

Fax : 21-31-51-77

(2) 口座の開設と閉鎖

該当情報なし。

(3) 小切手

2種類の小切手がある。

・斜線なし

小切手を受取った名義人が銀行に持ち込むことによってすぐに換金可能

・斜線あり

小切手を受取った名義人の銀行口座に入金する

## 6-2 クレジットカード

VISAカードが主流である。ホテルなど市内各所に現金引出し機が設置してあるが故障中で使えないこともある。尚、引出しの上限額は、FCFA200,000である。ほとんどのレストランや一般の商店ではクレジットカードでの支払いを受け付けていない。EREVANでは、VISAカードでの支払いが可能であり、その際に身分証明書の提示が必要である。

## 7. 交通事情



### 7-1 交通手段

(1) 一般事情

a) 道路、鉄道、航空の現状

当国は面積の小さな国であり、当国を横断するトーゴ国境～ナイジェリア国境まで(約 130 キロメートル)は舗装されている。

縦断にあたってはコトヌ～ニジェール国境の縦断ルート(約 750 キロメートル)も全ルート舗装されている(ただし、道路の状態は悪く、ところどころに穴があるので走行にあたっては注意が必要である。特にコトヌからボイコンまでの道路状況は悪い)。コトヌ～ブルキナファソへのルートもある。

一方、鉄道はベナン・ニジェール共有鉄道会社があり、コトヌ～パラクー(約 430 キロメートル)を客貨車が週 2～3 便出ている。しかしながら客車は各駅停車であり、約 9 時間かかる。

航空では、国際線はエールフランス航空、ブリュッセル航空、モロッコ航空、イボワール航空、ブルキナ航空、ヴァージンナイジェリア航空、ガーナ航空、ガボン航空、ケニア航空などが就航している。国内線はコトヌ～パラクー間のみ就航している。

## b) 自動車交通と輸送事情

コトヌ市内は最近、車の台数が多くなり、時間帯、場所によっては交通渋滞がみられる。市民の交通手段として、コトヌ市内ではバイクタクシー、乗り合いタクシーが多く利用されている。市民の移動はバイクタクシーが主流で、目的地を告げ、値段交渉をした後に乗車する。乗り合いタクシーは流しではなく、ルートが決まっているため行き先を指定できない。しかし、割高ではあるが交渉によってはタクシー一台をチャーターすることが可能である。コトヌ市内から地方へは、大型バスまたはマイクロバスが走っている。

ホテルや空港ではタクシーのチャーターが可能であり、約 8 時間/日で、コトヌ市内のみなら約 2 万 FCFA (運転手付き、燃料代込み) である。そのほか、タクシーを 1 時間単位でも借りることができるが、値段は事前に運転手と交渉することが必要である。

## c) 交通機関利用上の留意点

特にバイクタクシーの交通事故が頻繁におきているため、利用は避けたほうがよい。バス、タクシー、自家用車を問わず、走行中に整備不良が原因で、路上に立ち往生しているのがよくみられる。事故も多いので、長距離には信頼のおけるレンタカーなど整備点検の行き届いた車両を利用する。

## (2) 空港から市内への移動

マリーナホテル、ノボテル、イビスホテルに泊まる場合は、ホテルの車が空港にきているので、乗車できる。空港から各ホテルまでは車で約 5 分の距離である。その他のホテルでもホテル～空港間の送迎をしてくれているところもあるので、予約の際に確認するとよい。

あらかじめ関係者に到着を知らせておき、出迎えを依頼しておくのもよい。また何かの事情で出迎えがない場合は、白タクを利用することとなる。空港と市内中心部 (約 7 キロメートル) 間は約 3,000FCFA (アップパピ以降は 5,000FCFA) であるが、乗車前にはっきりと値段を運転手と交渉すること。夜間や早朝は金額が決まっておらず、料金は割増となる。

## (3) 自家用車を利用する場合

下記のような状況により、道順、道路状況をよく知り、独特な交通マナー、通行要領などを十分に把握してから運転した方がよい。

- ・右側通行 (車は左ハンドル) である。
- ・小型オートバイが多く、無秩序に走り回る。
- ・灯火不良など、整備不良車が多い。
- ・悪路が多い。
- ・昼夜を問わず、故障車が路上で立ち往生したり、または標示器なしで駐車したりしている。
- ・信号、交通標識など交通規則を守らない。知識の乏しいドライバーおよび歩行者が多い。



ではないが、警察官に頻繁に止められるため、書類は常時携帯することが必要である。路上駐車をする場合は、路肩に車両を半分乗り上げて駐車しなければならない。なお、大型トラックは7時～9時、11時30分～13時30分、14時30分～15時30分、18時～20時30分まで運転禁止で、この時間帯は道路の中心に連なって駐車している。

#### (2) 対処方法

交通違反などで車がレッカー車で警察などに持って行かれた場合、なるべく早く引き取りに行くこと。1日の保管料が高い。

### 7-4 車の修理

#### (1) 部品

フランス車の部品はエーエージェントがあるので、ほとんど入手できる。日本車の場合も、トヨタ、ニッサン、三菱などはエーエージェントで部品は容易に入手できる。しかしエーエージェントの扱っていない車の場合は、入手がきわめて困難である。

#### (2) 修理工場

輸入エーエージェントでは、部品販売およびアフターサービスも行なっている。ほとんどの車が町の修理店で修理できるが、エーエージェントのサービス工場の方が信頼できる。

ターボエンジン車、オートマチック車などの車の持ち込み、または購入は、修理技術上のこともあり、避けた方がよい。

## 8. 通信



### 8-1 電話

#### (1) 一般事情

各国の援助、借款などで徐々に電信通話部門が向上しつつある。コトヌ市内は、主な地域で電話架設の新設枠がないため、多くの場合は新設に時間がかかる。なお、電話架設を希望する場合は、申請書を電話局に提出する。新設工費は97,000FCFA ぐらいである。

また、ベナンテレコム「ZéKédé」という携帯式電話は電話架線なしで利用できる無線電話である。申請すれば、インターネットも利用できるため、便利である。なお、チャージ式であるため、常にチャージ用のカードを購入する必要がある。

#### (2) 国内電話

ダイヤル直通で通話可能。コトヌ市内の空港、郵便局前などに公衆電話があり、100CFAフランのコインまたはカードで利用できるが、故障中で使用できないものも多く見かける。1unite=100FCFA ぐらいである。

#### (3) 国際電話

コトヌ市内からはダイヤル直通で通話可能。日本までも問題なく繋がる。日本までの通話料金は、固定電話へは200CFA/分、携帯電話へは260CFA/分で

ある。

#### (4) 携帯電話

携帯電話会社は 5 社 (MTN, MOOV, LIBERCOM, BELLBENIN, GLOBAL) あり、それぞれ値段設定 (特に国際電話) やアンテナ強度の地域が異なるため、使用目的・場所を考慮して選択する。なお、携帯電話を新規購入する際、好みの機種を購入すると同時に上述いずれかの携帯電話会社の SIM カードを購入すること。また、すべてチャージ式なので、チャージ用のカードを購入する必要がある (カードは、コトヌであれば町中どこでも (CABIN TELEPHONIQUE など) 購入可能)。

## 8-2 電信

### (1) ファクシミリ

ファクシミリ機を準備し、自宅でも事務所でも電話機に設置して、その旨 OPT に文書をもって通知すること。使用料金は電話通話料金と同額である。

### (2) テレックス

テレックスは OPT (年中無休) から発信できる。

### (3) 電報

日本まで、1 音節につき 195 FCFA である。

### (4) インターネット

住居に電話回線があれば、ベナンテレコムにて ADSL の契約が可能である。電話回線がない場合も、以下の通り、いくつかの方法でインターネットを利用することができる。

- ・ISOCEL...無線通信。独自のアンテナを有しているため、比較的安定しており、最近、利用者が増加している。値段は、一ヶ月 30,000 FCFA ~ (設置料など別途支払い)。
- ・FirstNet...ISOCEL と同様無線通信。
- ・ベナンテレコム (ZéKéDé Kanako)...携帯式電話で、インターネット利用を申請すれば、インターネット通信可能。値段も安いので、接続は他社よりも遅く、重いファイルなどを送受信するには随分と時間がかかるが、家庭用としては使える。

## 8-3 郵便

### (1) 一般事情

郵便物の宅配制度はないため、私書箱のある郵便局に取りに行く。コトヌには中央郵便局以外に 5 ヶ所の支所があり、業務を分散している。支所によっては私書箱の確保が困難なこともある。私書箱を借りる時に鍵代などの諸経費を含

めて 30,000FCFA 支払う。(年間使用料は 15,000FCFA) 書留または小包などは私書箱に通知書が届いてから身分証明書と一緒に空港近くの郵便局 (TRIPOSTAL) へ持参し、荷物を引き取りに行く。日本からの手紙は航空便で 10 日～2 週間ほど、小包だと 2 週間～1 ヶ月、船便の場合は 2～3 ヶ月程度かかる。小包の場合は通知書が私書箱に投函された日から数えて 6 日以後からは 1 日ごとに保管料をとられるので、できるだけ早く引き取りに行くこと。DHL、UNIVERSAL EXPRESS という宅配便もあり、日本までも書類などを送付できる。

なお、最近では、小包が引取り前に開封され、中身を盗られる事例も頻繁に起きている。厳重に包装し、箱の端の部分のみならず、閉じ面を合わせる部分の内側を接着剤で貼り付けるなど、簡単に開封できない状態で送付するのが望ましい。

#### (2) 課税

一般的に、個人使用のための小包には課税されない。ただし、引き取る時に税関吏によるチェックを受けなければいけない。

#### (3) 国際宅配サービス

該当情報なし

## 9. コンピューター



### 9-1 ハード、ソフト

#### (1) 調達の方法

主な取扱店は次のとおりである。

##### ・Microland

Carré 3 Ganhi, face Librairie Notre Dame,  
05 BP 1053 Cotonou,  
TEL 21-31-37-27 FAX 21-31-37-22

##### ・Sobiex Informatique (IBM)

Carre No. 3 Face Eglise Notre Dame Cotonou  
TEL 21-31-43-19 FAX 21-31-27-72

##### ・TIP TOP (Apple)

Ave. Mgr. Steinmetz (B.P. 335, Cotonou)  
Tel & FAX 21-31-24-88

また、次のようなパソコン販売店があり、アフターサービスが受けられる。

##### ・M.S. Master Soft (台湾製の組み立て、IBM と互換機)

Immeuble Master-Soft (B.P. 06-537, Cotonou)  
TEL 21-30-35-44

そのほかに、プリンター、ソフトやフロッピーディスク、および消耗品の調達も可能である。

## (2)使用の際の注意

電圧の変動に注意

## (3)修理

以下の修理業者ほか数社がある。故障状況によってはベナンで修理ができない場合もある

・MA-INFO

Tel/FAX : 21304698

・Microland

Tel : 21313727, FAX : 21313722

## 10. 職場環境、勤務条件



### 10-1 職場環境、勤務条件

## (1)就業時間

一般的な公務員 : 8:00-12:30, 15:00-18:20

## (2)有給休暇

一般的な公務員 : 30日

## (3)執務室

大部屋形式と個室形式

## (4)通勤事情

自家用車またはバイクタクシーを利用する

## 11. 出入国手続き



### 11-1 入国

## (1)空港施設概要

両替所があるのみ。

## (2)入国手続き書類

入国カードは機内で配布されない場合もあるが、入国検査室に用意されている。入国には黄熱病予防接種カードが必要。税関では若干の質問をされることもあるが、荷物を開けてみせる程度の検査である。外貨持ち込み申請の必要はない。

## (3)入国審査

記入済みの入国カードとパスポートを入国管理局カウンターに出す。ここで入国ビザのチェックを受け、パスポートに入国管理局の入国スタンプを押してもらう。入国管理局カウンターを通り抜けると、荷物引き取り所がある。荷物引取り後に出口で係官に預け荷物の控えの提示を求められるので預け荷物の控えを紛失しないように保管しておく。万一荷物が紛失してみつからない場合、すぐ横にクレームカウンターがあるので、荷物の半券を示してクレームをつけること。

#### (4)税関検査

一般に、日本人に対して厳しいチェックが行われることはない。荷物の検査を指示されたら税関吏のいるカウンターの上に荷物をおき、自分で開けて調べてもらう。日本食料品の場合など質問を受けることがあるが、日本からの食料品だと説明すれば問題ない。

チェックが終了したら、必ず荷物の上にチェック済みの証明のためにチョークで印をつけてもらう。ホールの出口には、荷物に印がついているかどうかを調べる検査員が立っている。

#### (5)空港内での留意点

飛行機到着時は、出迎えの人々やポーターなどで混雑しているため、荷物に十分な注意が必要である。入国後の駐車場で、スーツケースが盗られてしまったケースもある。

#### (6)出迎え

あらかじめ関係者に到着を知らせておき、出迎えを依頼しておく

#### (7)空港からの主な交通手段

マリーナホテル、ノボテル、イビスホテルに泊まる場合は、ホテルの車が空港にきているので、乗車できる。空港から各ホテルまでは車で約 5 分の距離である。その他のホテルでもホテル～空港間の送迎をしてくれているところもあるので、予約の際に確認するとよい。

あらかじめ関係者に到着を知らせておき、出迎えを依頼しておくのもよい。また何かの事情で出迎えがない場合は、白タクを利用することとなる。空港と市内中心部(約 7 キロメートル)間は約 3,000FCFA(アップパパ以降は 5,000FCFA)であるが、乗車前にはっきりと値段を運転手と交渉すること。夜間や早朝は金額が決まっておらず、料金は割増となる。

#### (8)その他の留意点

コトヌ空港は小さな空港で、通常ほとんど問題なく通過できる。到着後、関係省を通して滞在許可証を申請する。滞在許可証の有効期間は通常は 1 年で、更新が必要。また滞在ビザの期限にも注意し、外務省を通して更新を行う。

## 11-2 出国

### (1)出国時の概要

出国ホールに入る前に警官がパスポートと航空券をチェックする。出国ホールのチェックインカウンターで荷物のチェックインを済ませる。チェックイン後、別ホールに呼ばれ、スーツケースの中身を検査される場合もある。出国カードの記入をすませ、その後、出国管理カウンターでパスポートと出国カードを提出した後、搭乗ゲート前で手荷物等のチェックがある。

### (2)出国手続上の留意点

エールフランス機利用の場合のみ、搭乗タラップを昇る手前で機内持ち込み

荷物全てのチェックがある。

(3) リコンファーム

基本的に不要だが、アフリカ便はリコンファームすることをお勧めする。

(4) チェックイン

インターネットチェックインが可能な航空会社もある

(5) 空港利用税

不要

(6) その他の留意点

特になし

### 11-3 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

必要に応じて渡航先国のビザを取得する。

(2) 車の処分

中古車はスーパーマルシェなどに広告を張って売却する方法がある。売却処分する場合は、事前に余裕を持って予約売却などの処分手配をした方がよい。

(3) 家財道具の処分

家財道具はリストアップして、大きなスーパー、書店などの入口の掲示板に貼っておくと買い手が連絡してくる。事前に十分に余裕を持って行なうことが望ましい。

(4) 住宅の明け渡し

入居時の家主との契約書に従う。通常、3ヵ月前に明け渡しの通告書を家主に出す。明け渡し前に破損などがなければ、3ヵ月分の保証・担保金は払い戻してくれるか、あるいは最後の3ヵ月分の家賃を払わなくてもよいことになる。

(5) 外貨持ち出し規制

外貨持ち出し制限は特になし。

## 12. 治安、 緊急時の心得



生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

### 12-1 暴動、クーデターなど

(1) 一般事情

特に選挙期間中は混乱が予想されるため、政治集会などには一切近づかないことが賢明である。

(2) 対処法

- ・夜間の外出は避ける。
- ・現金は必要額のみを分けてもつ。
- ・危険箇所、人が集まっているところを避ける。

万一に備え、いつでも家族全員が近隣諸国へ避難できる程度の現金(ユーロ、米ドル)、非常用食料および飲料水を用意しておくべきである。

## 12-2 強盗、盗難

### (1) 一般的治安状況

一般事情としては、ベナンの治安は他のアフリカ諸国に比べて比較的安全とされているが、日本の常識は通用しない。泥棒・詐欺などには十分な注意が必要。

長期に家を空けた際に空き巣の被害に遭う例がある。12月のクリスマス時期が特に盗難の多い時期である。ホテル内でも盗難の恐れがあるので貴重品の管理には十分に注意する。

四輪駆動を狙った計画的な犯罪もあるので、夜間の移動は避けたほうがよい。近年、ナイジェリアの銀行強盗団がコトヌ市内の銀行を襲い、警察との間で銃撃戦を繰り広げる、という事件が起きている。

### (2) 住宅の防犯対策

- a) 一般的に使用されているドアの鍵はパターンが限られており、いくつかを用いれば開けることができるといわれている。実際、盗難事件は合鍵が使われたケースが多い。このため、鍵穴を塞ぐドイツ製のキーホールロックの使用、あるいは合鍵の作りにくいシリンダー錠(現地でも一部入手可)の取り付け、または簡単な防犯用補助ロック(現地入手不可)を用いるのが望ましい。
- b) バーグラウ・バー(鉄格子)、警備員の配置、フェンスの設置、内鍵、かんぬきなどを施し、知らない人を敷地内に入れないこと。
- c) 非常時に警察に連絡しても、警察車両が不足しているため駆けつけてくるとは限らない。大型犬を飼うなど、ある程度の自己防衛を平素より心がけておくことが必要である。
- d) 身元の不確かな人は雇用しない。また、使用人に旅行計画や取引の詳細などを知らせないこと。ハウスポーイ、警備員などが強盗の手引きをする例がある。
- e) 犯人はセールスマン、道路工夫、公共労働者などを装い、犯行前に下調べをしていることが多い。不審な場合には警察に通報すること。

### (3) 市中での防犯対策

該当情報なし

### (4) 注意すべき場所、危険地域

コトヌ: 軍施設、大学、高校、大統領官邸周辺、中央市場(ダントッパ)付近、ガンヒ市場、スタインメツ通り、ノホテルの後方の砂浜

(注意すべきエリア: コラコジ、ゾンゴ、ゴドメイ、ペガメイ、エナノンなど)

地方都市: 役場、高校、憲兵隊駐屯地など

### (5) 被害時の心得

警察に連絡しても、警察車両が不足しているため駆けつけてくるとは限らないが、まずは通報すること。

## 12-3 火災、風水害、地震

### (1) 一般的災害発生状況

雨季(6月頃～9月頃)は、洪水被害が発生する。洪水が原因となってコレラな

どの伝染病が発生する。

#### (2) 防災対策

住居を選定する場合は、周囲に洪水の時などに氾濫するような川や大きな用水路がない場所にする。

#### (3) 被災時の心得

事前に非難先を確保しておくこと。

### 12-4 緊急連絡先電話番号

コトヌ警察署(24時間対応)

(1) 怪我 Sapeur Pompier : 21303011

(2) 泥棒 Commissariat Central : 21303025

## 13. 社交



### 13-1 風俗習慣

挨拶をする時は、握手をする。また、フランス文化の影響を受けており、親しい相手と挨拶する時は、両頬に軽くキスをする習慣がある。

### 13-2 パーティーでの留意点

パーティーは、個人宅で開かれる場合が多い。招かれる際は、ワイン、チョコレート、花束などのほか、日本の小皿などを手みやげとして持っていくと喜ばれる。ベナンでは、たいていがインフォーマルなパーティーなので、男性はプレザー、女性はワンピースなどの気軽な服装で構わないが、招待状に特にドレスコードの記載がない場合は、一応、事前に確認し、その場に適した服装を心がける。

ホテルで開催される改まったレセプションでも、男性はビジネススーツ、女性はワンピースなどで十分であるが、特に女性は着付けや髪の設定に自信があれば着物を着用すると、皆に喜ばれる。

### 13-3 来客時の留意点

招待客の宗教や習慣を事前に確認して食事のメニューを考えること。たとえばイスラム教徒の場合、スープをとるにも豚を使うことはタブーであるし、また、西洋各国人にも肉・魚類を食べないベジタリアン(菜食主義者)が増えている。安心して食事ができるよう、料理を出す時は、ひとつひとつ材料を説明するとよい。

### 13-4 訪問時の留意点

「14-2 パーティーの留意点」参照。

### 13-5 禁止されている言動 (タブー)

ベナン国内で統一されているタブーはない。各民族・部族、集落によってそれ

それぞれの習慣的なタブーなどがあるため、把握しきれない。

写真に関しては、撮られることを好まない人が多く、また各民族によって神聖とされているものは基本的に撮影を拒否されるので、写真を撮る際にはあらかじめ聞く必要がある。

民主化後、表現の自由は許されるようになったが、政治についての話は避けるのが賢明である。また、各宗教の批判などは当然ながらすべきではない。

### 13-6 文化活動、文化施設

#### (1) 一般事情

邦人が少ないために、日本人による文化活動は行なわれていない。(但し、青年海外協力隊員による日本の文化紹介が、特定地域で実施されている場合もある)

#### (2) 日本・任国友好協会などの有無と活動の内容

JICAで研修を受けたベナン人の間に、JICA帰国研修員の同窓会を発足しようという動きがあるが、まだ具体化されていない。

#### (3) その他の文化活動、文化施設

コトヌ市内ではフランス文化センター、アメリカ文化センター、中国文化センターで時折、映写会、音楽会などが行なわれている。

### 13-7 JICA帰国研修員同窓会

該当情報なし

### 13-8 現地の人々との交流

一般に対立を好まない、礼儀正しいという点では、日本人と共通する部分があり、つきあいやすいといえる。パーティーなどに招待する場合、自家用車や公用車を所有する一部の富裕層が対象なら問題はないが、車を持たない一般ベナン人を招きたい場合は、公共交通機関である乗り合いタクシーやバイクタクシーが比較的安全に利用できる昼間にすることが望ましい。

## 14. 教育



### 14-1 教育事情

#### (1) 一般事情

日本人学校・補修校はなく、一般的には、インターナショナルスクールに通う。主な学校としては、フランス人学校(幼稚園から高校まで)とブリティッシュスクール(幼稚園から中学校まで)がある。フランス人学校はフランス人が最優先であり、EU圏以外の外国人の入学は容易ではない。また、ブリティッシュスクールは有資格の教員がわずかで、多くは父母によるアルバイト的契約教員であるため、評判は芳しくない。

## (2) 日本人学校

なし。

## (3) 現地校、外国人学校

## ・フランス人学校 (Etablissement Francais d'Enseignement Montaigne)

住所 01 BP.679 Recette Principale

電話 21-30-17-28、21-30-04-86

年齢 3～18歳

学期 9～6月、3学期制度

フランス国籍を有する子女が優先で、席があれば外国人の子女も入学できる。

## ・THE ENGLISH INTERNATIONAL SCHOOL

住所 08 BP.0430 Haie-vive

電話 21-30-12-74 / 21-30-61-95

年齢 6～18歳

学期 9～6月、3学期制度

## ・Lapins Bleus (フランス人経営による私立学校)

住所 Cocotiers

電話 30-14-85

年齢 3～12歳 (幼稚園から小学校)

学期 9～6月、3学期制度

通学手段としてのスクールバスや公共交通機関はなく、家族による送り迎えが一般化している。休校日はフランス人学校を例にとると、祭日 (当国・フランスの両国) と水・日曜日である。中学校までは、金・土曜日は半日である。

## (4) 幼稚園

## ・Ecole maternelle "Les Mille Pattes"

Tel : 21045911

## ・Ecole maternelle et primaire "Le Laurier"

Tel : 21302699

## ・Ecole "Le Petit Poucet"

Tel : 21312167

## ・Ecole maternelle "Le Joyeux Lutin"

Tel : 21314461

**14-2 入学手続き及び授業料**

## (1) 日本人学校

該当情報なし。

## (2) 現地校、外国人学校

・Ecole Montaigne フランス人国際学校 (2008年/日本人の場合)

小学校 授業料 1,587,000CFA/年間(132,000CFA/月)、入学金 150,000CFA/年  
登録料 50,000CFA/年 強制寄付金 1,500CFA/年間

中学校 授業料 2,082,000CFA/年間(173,500CFA/月)、入学金 150,000CFA/年  
登録料 50,000CFA/年 強制寄付金 1,500CFA/年間

高校 授業料 2,463,000CFA/年間(205,250CFA/月)、入学金 150,000CFA/年  
登録料 50,000CFA/年 強制寄付金 1,500CFA/年間

・THE ENGLISH INTERNATIONAL SCHOOL (2008年)

小学校 授業料 457,34E/月、登録料 228.67E/年

中学校 授業料 495.45E/月、登録料 228.67E/年

高校 授業料 495.45E/月、登録料 228.67E/年

### 14-3 教育関係施設

#### (1) 図書館など

フランス文化センター (CCF)、アメリカ文化センター、中国文化センターのなかに図書館がある。フランス文化センターの場合は、メンバーカード(1年間有効)を購入すれば持ち出しもできる。

また Jurise Jam (法学系) や Bank Mondial などにもあり、大体年会費 1,500FCFA で会員になることによって借りることができる。

#### (2) スポーツ施設

マリーナホテル、ホテルアレジオ、ホテル・ドゥ・ラックなどにテニスコートやプールがある。

ゴルフはマリーナホテルに施設があり、誰でも利用できる。乗馬はクラブ・ドゥ・ナシオンにて馬場内のみ可能。

### 14-4 家庭学習

#### (1) 家庭教師

当地教師や外国人教師を雇い、フランス語、英語、スペイン語、ドイツ語などを習うことができる。(料金は 3,000CFA ~ 10,000CFA/1 時間)

#### (2) 通信教育

赴任前に日本で手続をすませる。通信学習の教材は、直接当国に送付する手続きを行うこと。

#### (3) 携行した方がよい家庭用学習教材

通信学習を行う場合は、参考書などはあまり必要ないが、ホームテスト、ドリルぐらいは最低持っていた方がよい。国語辞典などは日本から携行すること。

## 15. 家庭の使用人



### 15-1 運転手

#### (1) 雇用

運転手の雇用にあたっては、職場の人の紹介を通し、経験の豊富で身元がはっきりした人を雇用すること。雇用前に一度運転テストをすること。基本的に勤務は月曜日～土曜日。日曜日と祝日は休み。解雇する場合には、事前に告知する、1か月分を退職金として支払うなど円満に行うように心がける。

#### (2) 日常管理

洗車、車内清掃、オイル点検などをきちんとさせ、走行日記を記録するよう指示し、随時チェックすること。

#### (3) 教育指導

一般的に標識などを無視する傾向があるので、スピードを出さずに、安全運転をするように心がけさせる。事故への対応(連絡方法、処置、保険会社の連絡先)を確認しておく。

#### (4) その他の留意点

修理時の部品交換等は、古い部品と交換したり部品の値段を高く伝えたりといったモラルハザードが起きる場合もあるため、車両所有者が同行した上、確認する方がよい。

### 15-2 家政婦/夫

#### (1) 仕事の種類と人数

家族の人数が少ない場合は、1人で簡単な料理、洗濯、掃除をするケースが多い。なお料理については、現地料理以外にフランス料理、中華料理等の調理が可能か確認しておくこと。乳幼児がいる家庭では子守を別に雇用する場合もある。また、料理人を雇用することも可能であるが、和食を調理できる料理人はごく限られている。給与は、約30,000CFA～60,000CFA/月間。基本的に勤務は、月曜日～土曜日。日曜日と祝日は休み。解雇する場合には、事前にその旨を告げる。場合によってはトラブルに繋がるケースもあり1か月分を退職金として支払うなどして、円満に行うこと。

#### (2) 雇用

テスト期間を設け、問題がなければ正式に雇用するようにした方がよい。

#### (3) 日常管理

最初に仕事の割当てをよく指導し、特に日本の包丁の使い分けなどを説明する。生活習慣が大きく異なるということを念頭に置き、手洗いなどの衛生教育を行った方がよい。

### 15-3 庭師、ガードマンなどの雇用

一般にガードマン、庭師の仕事は1人で行なう。知人の紹介などによる、身元のはっきりした人を雇用すること。

また警備会社と契約して、警備員を派遣してもらうこともできる。警備会社からの派遣の場合は24時間体制で1交代/日、一日に数度の見回りが来る警備会社もある。

## 16. メディア



### 16-1 新聞、雑誌

#### (1) 現地発行の日刊紙

—日刊—

- ・Nation
- ・Le Matin
- ・Matinal
- ・Fraternite
- ・Beninois
- ・Progres
- ・L'autre quotidien
- ・Telegramme

—週間—

- ・Gazette de Golf

#### (2) 日本の日刊紙

当国内では販売されていない。

#### (3) 欧米紙 / 誌

大きな書店または雑誌専門のキオスクなどでは、フランス語、英語、ドイツ語の新聞が数日遅れで買える。

#### (4) 日本の雑誌、書籍

該当情報なし

### 16-2 ラジオ

#### (1) ラジオ放送局

国営ベナン放送局(ORTB)があり、全国放送をしている。

その他、

Radio Tokpa

Golf FM

Ocean FM

Fraternite FM

Radio Planet

Capp FM

Atlantique FM

Ado FM

以上は、コトヌ周辺であるが、各地域でそれぞれラジオ局があり、それぞれの現地語やフランス語で放送が行われている。

(2)NHKワールド・ラジオ日本 (ラジオジャパン)

9:00と11:00、16:00～18:00の放送がよく入り、アンテナをつけると受信しやすい。

(3)聴取可能なその他の外国放送

フランスからのラジオ・フランス・インターナショナル(RFI)放送は、FM短波でも24時間聴取できる。そのほかにも、BBC London、Voice of America、Voice of Africa などが聴取できる。

### 16-3 テレビ

(1)地上波放送局

ORTB(国営放送局)がコトヌより全国放送している。放送時間は日によって異なるが、だいたい18:00～23:00頃である。カラー放送である。

その他 CANAL 3、LC2、GOLF TV があり、アボメイにはこれに加え、TV Carrefour がある。受信アンテナを取り付ければ、ナイジェリアとトーゴの放送もみられる。

Canal+の受信機及びアンテナを設置すれば、フランス・カナダ・ベルギー・スイスの国際放送や共同番組がみられる。

また、アボメイから以南地域(コトヌ市含む)では、NHK国際放送の受信が一部可能である。但し、専用の受信機と衛星アンテナを設置するため専門の業者に依頼する必要がある(アンテナ費を含む設置費は約460,000FCFA)。

(2)衛星放送、ケーブルテレビなど

配信業者と契約することによって視聴可能(有料)

(3)テレビ受信

テレビの受信方法はSECAMとPALで、日本のテレビをそのまま持参しても、当地の放送を見ることはできない。マルチシステムのテレビおよびビデオ再生機が必要である。

## 17. スポーツ、 趣味、 語学学習



### 17-1 スポーツ

(1)ゴルフ

マリーナホテルにショートコースの6ホール、サンドグリーンがあり、打放しもできる。ゴルフ用具の当地調達は一切できないので、すべて持参すること。

(2)テニス、フィットネス

コトヌ市内には個人会員制のテニスクラブがある。そのほかにもクラブ(Club des Nations)、マリーナホテル、ホテルアレジオなどにもテニスコートがある。ボール、ラケット、靴も当地で調達でき、ガットの張り替えもスポーツ用具専門店、また

はテニスクラブで可能である。

#### (3)水泳

ほとんどのホテルにプールがあり、誰でも料金を払えば利用できる。ギニア湾に面したエルドラドプールは、プール、プライベートビーチでの遊泳が可能。しかし、大西洋の荒波が押し寄せるので、海水浴をする際は十分な注意が必要である。

#### (4)その他のスポーツ、用具、ウエア

コトヌ市内にはいくつかジムがある。またホテル・ドゥ・ポーにもジムがある。また、土曜日の12時～14時まで、アメリカ大使館の建設用地でソフトボールをプレーする無国籍の集まり(アメリカ、カナダ、ベナン、日本など。子供も参加可能)があり、事前連絡なしで気軽に参加できる。参加費は一人2,000FCFA(グローブ持参する必要なし)。なお、ウエアやサッカーボール以外のスポーツ用具は持参したほうがよい。

#### (5)スポーツクラブなど

フランス人がよく利用している小さなヨットクラブがあり、ヨット、テニス、卓球などができる。

#### (6)子どもの遊び

子供の遊び場というものはなく、プール、週末の海辺のピクニックなどに限られる。

## 17-2 趣味

### (1)映画館

コトヌ市内には映画館が3館あるが、現在休館中である。なお、不定期ではあるが、外国人がよく利用するのは、フランス文化会センター(CCF)が主催する無料の映画上映会である。

### (2)劇場

国立劇場はない。不定期にフランス文化センター、中国文化センターなどで、演劇が上演される。

## 17-3 出版・書籍

### (1)一般事情

一般的に当国で出版されている書物は少ない。当国に関する書籍、またはベナン人作家による出版物でも、ほとんどがフランスの出版会社で発刊されている。

### (2)書店

コトヌ市内の大きな書店(SONAEC、NOTRE-DAME)では、外国雑誌、経済誌、スポーツ誌、ダイジェストなどが手に入る。以上のものはほとんどフランス語であるが、英語、ドイツ語の書物も若干ながら入手可能である。

文房具に関しては数軒の店があり、主にヨーロッパから輸入された一般的な文房具用品が揃っている。また道端の小さな露店でも学校で使用するような文房具類は手に入る。

#### 17-4 写真・ビデオ

##### (1) 写真

コトヌ市内には写真店が多く存在する。特にコダック、アグファ、フジカラーなどを扱っているエージェントがあり現像技術も良い。デジタルカメラの現像に関しては、ガンビ市場の近くにあるフジカラーで可能。パスポート用の写真や証明写真も同店で用意ができる。

##### (2) ビデオセット

ビデオはDVDが主流である。電気専門店ではマルチ方式などのビデオデッキが販売されている。

最新版のDVD、VCDが流入しているが、質の悪い偽造版もあるので注意が必要。

##### (3) 音楽CD

アフリカミュージック、フランスのポップミュージック、ソウルミュージックなどいろいろなCDが安く市販されているが、質の悪い偽造版もあるので注意が必要。オリジナルは1枚5,000～8,000CFAで購入可能。

##### (4) DVD

市場に出回っているものは、ほぼ海外から輸入コピーされた偽造版もあるので注意が必要。

#### 17-5 音楽鑑賞、演奏、民族楽器

##### (1) 音楽会、コンサート

アフリカ諸国からの有名なアーティストが、スポーツホールなどでコンサートを時々行なう。そのほか、フランスからのアーティストがフランス文化会館でコンサートを開催することがある。

##### (2) コーラス、演奏グループ

カトリック教会、プロテスタント教会に属するコーラスグループがあり、現地音楽や流行のポップス等を上手にアレンジして冠婚葬祭時に歌っている。日曜のミサには各教会に多くの人が集まり、賛美歌を合唱している。各地方にも、フォークグループがあり、その地方独特のダンスなどを披露している。

##### (3) 民族楽器

打楽器、木管楽器、弦楽器が多数ある。

##### (4) その他の楽器

スティンメツ通りに楽器店があり、そこではアコースティック、クラシック、エレキなどのギター各種、ドラムセット、トランペットなどの金管楽器、サクソなど

の木管楽器などを扱っている。YAMAHAなどのメーカーのものは、日本で買うより高額である。置いてある楽器に関する付属品も入手可能。

## 17-5 手芸、絵画、美術工芸

### (1) 手 芸

品質を問わなければ、手芸材料は縫製と刺繍に関するものであれば基本的なものは入手できるが、便利な道具(チャコピー、ルーラー、糸切ばさみなど)は売られていないため、趣味として手芸をする場合、ある程度のもを日本から持参したほうがよい。

### (2) 絵画、美術工芸

コトヌには、画廊や美術工芸店がある。当国の画家や手工芸家による美術展が、フランス文化センターなどでよく開催されている。

## 17-6 園芸、釣り

### (1) 園芸

様々な種類の花木、観賞植物がある。郊外では園芸センターがあり、鉢植されたものを購入できる。肥料なども園芸センターで入手できる。家庭菜園も可能であるが、丹念な手入れが必要で、季節により栽培できない野菜もある。できるだけあまり手入れを必要としない野菜の種を日本から持参した方がよい。

### (2) 釣り

海釣りは観光客用の貸船があるが、一般的には磯釣りである。季節により違うが、小ダイ、スズキ、小魚などが主である。

コトヌ市内に釣り道具専門店が 1軒あり、いちおうのものは入手できる。

## 17-7 その他の趣味

### (1) 娯楽、遊戯、ゲーム

コトヌ空港前に小さな遊園地がある。またクリスマス前などは移動遊園地が市内に設置される。

### (2) 芸能興行

諸外国からの興行が時々行なわれている。主に西アフリカ諸国、フランスからの興行が多い。

## 17-8 語学学習

### (1) 語学学習施設

アメリカ文化センターでは、各段階・目的別のクラスに分かれて英語を勉強できる。フランス文化センターでは、フランス語とベナンの現地語のクラスを設置している(なお、講師はいずれもベナン人)。GTZもドイツ大使館と共同でドイツ語のクラスを実施している。またアボメイカラビ大学の付属語学学校(CEBELAE)

では、フランス語、英語、ドイツ語が安く学べる(講師はいずれもベナン人)。

## (2) 家庭教師

個人教授でフランス語、英語、ドイツ語、スペイン語などを習うことができる。

## 18. 観光



### 18-1 地方旅行の留意点

夜間、自動車で地方を運転するのは避けたほうがよい。路上に障害物が置かれていたり、検問を装った強盗が出たりする場合もあり、危険であるため国際機関は、夜18時以降の地方間の移動を禁止している。また、コトヌ市内から北部に通じる主幹線は特に大型輸送トラックの通行が夜間に多く、事故が多い。

### 18-2 主要観光地・保養地

当地の観光案内所またはホテルなどで、観光パンフレットを入手できる。また、フランス語のガイドブックがコトヌ市内の書店で購入可能。ベナンの主な観光スポットは、以下の通り。

南部:コトヌ周辺であれば、水上に暮らすガンビエ集落(コトヌ中心から約25キロメートル)があり、集落を巡る観光用の小船が毎日頻繁に出ている。また、トーゴ国境方面の海岸線沿いには、ウィダやグランポボなどの海のリゾートがあり、ベナン在住外国人に人気がある。なお、ウィダは、かつて奴隷が海外に連れられた奴隷海岸と呼ばれる海岸に面していることから、奴隷貿易という悲劇の歴史を繰り返さないことを誓うモニュメントや博物館がある。さらに、ウィダはベナンの土着宗教であるブードゥ教発祥の地であるため、寺院(ヘビ寺院)や1月10日に開催されるブードゥ教の祭りを見学することもできる。

中部:コトヌから車で3時間ほど北上したところに古都アボメイがあり、ユネスコの世界遺産に登録されているダホメイ王国の王宮を見学することができる(入館料を払い、英語かフランス語の通訳付き見学ツアーに参加する)。

北部:ブルキナファソとの国境近くにパンジャリ自然国立公園(コトヌから約600キロメートル)があり、カバ、ゾウ、ライオンなどの野生動物がみられる。なお、乾季は公園内のホテルが営業しており、一泊二日での見学が可能(雨季は休業)。また、ナチティング周辺には、「タタサンバ」と呼ばれる独創的な土壁住居があり、ホテル等でツアーを申し込んで見学することもできる。

### 18-3 旅行代理店

コトヌ市内にはいくつもの旅行代理店があり、国内観光のアレンジ(車の賃貸、グループ旅行など)や、国外のサービスも取り扱っている。

代理店によっては、航空券を購入すると空港までの送迎、チェックイン、通関手続も行ってくれる。主な旅行代理店は次のとおりである。

・C&C BENIN Agence de Voyage TEL 21-30-00-08

- ・COBENAM Voyages et Tourisme TEL 21-31-25-34
- ・SAVANNA Tour TEL 21-31-46-26
- ・SATGURU TRAVEL & TOURS SERVICE TEL 21-31-35-43  
FAX 21-31-27-73
- ・Continental Voyage TEL 21-30-56-54 21-30-56-58
- ・CONCORDE VOYAGES & TOURISME TEL 21-31—02-27

## 18-4 旅行

### (1)自動車

全国の道路網は、コトヌからの主幹線は舗装されているが、未舗装道路も多い。ガソリンスタンドは各地区にあるが、ガソリンがないことが多々あるため予備給油タンクを持参した方がよい。その他の携帯必需品としてはポリタンク、水筒、食料、救急箱、トイレトペーパーなどがあげられる。

### (2)バス

コトヌから各地方都市へ大型バス、マイクロバスが出ているが、出発時間がはっきりしていない。パラクーやナティテング行きは割と時間通りに出発している。

コトヌ～ナティテング 7,500～8,500CFA (約 8 時間)

コトヌ～パラクー 5,500CFA(約 6 時間半)

### (3)鉄道

コトヌ～パラクー間に客貨車がある。各駅停車で 12 時間ほどかかる。料金はコトヌ～パラクーが 1 等が 6,000CFA、2 等が 4,500CFA である。週に 2～3 回の運行であるが、確認が必要である。

### (4)航空機

利用者が少なく、国内線の定期便も少ない。しかしチャーター便は可能である。また、Litoral air ways は、12人乗りの小型機を利用し、コトヌ～パラクー間を毎日ではないが運航している。

## 18-5 ホテルなど宿泊施設の手配

国際会議等開催時期はコトヌ市内のホテルが満室になることもあるので、予約を入れておいた方が安心である。地方都市のホテルの予約は、当地の旅行代理店に依頼、あるいは直接電話で予約する。しかし地方では予約しても、現地に行くと予約されていないことがしばしばある。支払いはホテルによってはクレジットカード(アメックス、VISAなど)が可能であるが、地方のホテルはクレジットカードの利用は不可である場合が多い。ユーロのトラベラーズチェックでの支払いも可能なホテルが若干あるが、おつりはCFAフランで支払われる。

## 19. 私財の輸送、 引き取り、 購入



### 19-1 家財道具

#### (1) 輸送会社

・SBEM

住所 Bld. de la Marina

電話 21-31-59-26, 21-30-00-60, 21-31-15-93

・SCAC, Delmas, Trancap-Benin (3社合同)

住所 Route du PLM, Akpakpa

電話 33-11-78, 33-11-98, 33-16-11

両社ともコトヌでは信頼できるエージェントで、通関手続および陸上輸送を安心して依頼できる。両社とも日本の会社と業務提携しているため、本邦において購送手配を行なえる。SBEMの日本の提携会社はサガ・ジャパンで、SCACはスカック・ジャパンである。

#### (2) 輸入手続き

該当情報なし。

#### (3) 家財道具の購入

コトヌ市内の家具店、スーパーなどで購入可能である。

#### (4) 輸入貨物の受け取り港

コトヌ港である。コンテナなどは、AGSなど輸送専門業者に依頼したほうが手続きは楽である。

### 19-2 自動車

#### (1) 一般状況

新車の輸入が緩和され、コトヌで新車が購入できる。日本製の四輪駆動車も輸入されている。日本からの輸送、税関などの引き取り労力を考慮すると、当地で購入するのもよい。

スペアパーツもエージェントまたは市内のスペアパーツ店で入手できる。

ちなみに、トヨタランドクルーザーII、2,800cc ディーゼルの価格は次のとおりである。

8人乗り 約 24,500,000FCFA

#### (2) 輸入手続き

該当情報なし。

#### (3) 現地での購入

フランス車(プジョー、ルノー、シトロエン)、日本車(トヨタ、ニッサン、三菱、スズキ)などはエージェントである程度のストックがあり、入手できる。また主にフランスからヨーロッパ車、日本車などの中古車も輸入販売されていて、購入可能である。ほとんどは乗用車で価格は250万～500万FCFAくらいである。できるだけスペアパーツが市中ですぐに入手できる車を選ぶことが肝要である。

(4) 自動車登録

該当情報なし。

(5) 免許証取得

国際免許証を持参する。当国の免許証に切り替えるためには、自動車の若干の構造基礎知識、交通規則と実技のテストを受けなければならない。

(6) 保険、税金

当国ではすべての車両は保険に加入することが義務づけられている。保険には次のような種類がある。

・第三者対物保険 (Tier Simple)

年間 5 万 ~ 8 万 CFAフラン (車の馬力により異なる)

・第三者対物、火災、盗難 (Tier Simple / Incendie / Vol.)

料金は車両見積額により異なる。

・第三者対物、乗客保険 (Tier Simple / Personne Transportee)

料金は車両見積額により異なる。

・総合保険 (Tout Risque)

新車に限り、料金は車両見積額により異なる。

普通、このうちの第三者対物保険に加入するケースが多い。しかし万一に備えて、総合保険に加入することをすすめる。

## 20. 地方都市

該当情報なし

